



Ⅲ、女性のための防犯



女性の性犯罪被害が最も多いのは、深夜に一人で歩いている時です。

被害に遭わないために、本章に掲載されている事柄に気をつけて安全に家に帰りましょう。



女性が被害に遭いやすい状況

強制わいせつ 午後10時台～翌午前0時台

道路上、マンションやアパートの入口・通路・エレベーター
などの共有部分

(大阪府警察HP：平成29年中の性犯罪の発生状況より)

1 帰宅途中の道路上において

- 歩くときは時々後ろを振り返り、不審者がいないか確認しましょう。
警戒していることを示せば、不審者をけん制することができます。

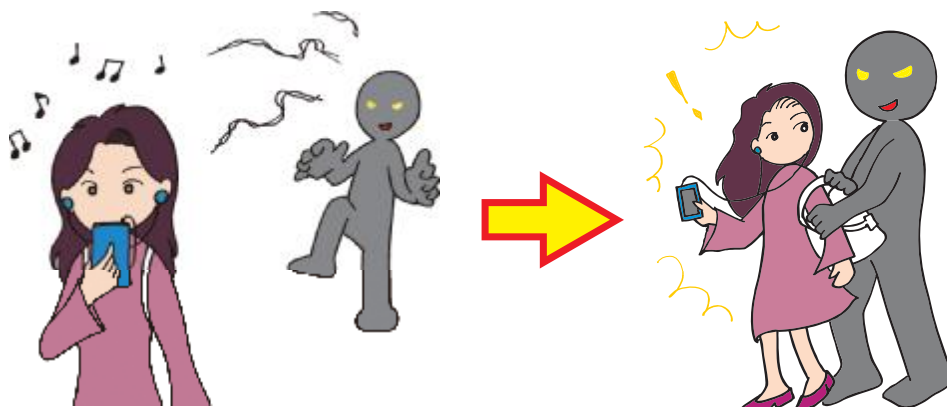


- 防犯ブザーをいつでも鳴らせるようにして携帯しましょう。

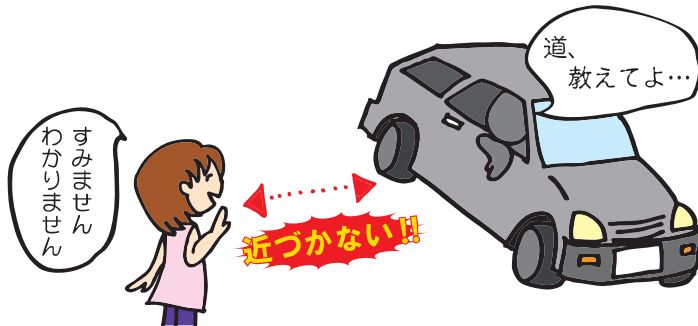


- ながら歩きはやめましょう

道路上で後から襲われて痴漢などの被害に遭うケースが目立ちます。スマートフォンを操作したり、イヤフォンで音楽を聴いたりしながら歩くと、周囲へ注意を払えなくなり、近づいてくる不審者に気がつきません。



- 道を尋ねるふりをして近づく場合もありますので、もし声をかけられればすぐに逃げられるように相手との距離を十分に取しましょう。
車に乗っている者が声をかけてきた場合、車には絶対に近づかないようにしましょう。



- 不審者に襲われたら、
 - ・防犯ブザーを鳴らす
 - ・大声で叫ぶ
 などして逃げ、すぐに110番しましょう。

2 マンションなどの共同住宅において

- 不審者が後を追って入って来ないように、

- ① 『オートロックを開錠する時』
- ② 『エレベーターに乗る時』
- ③ 『部屋に入る時』

には必ず後ろを確認しましょう。



- エレベータでは、すぐに非常ボタンを押せるよう操作盤の近くで、同乗者に背中を向けないようにして立ちましょう。



いったん降りて、やり過ごすのも一つの方法です。

万が一エレベータ内で襲われれば、ボタンを全て押し、最初に止まった階でエレベーターを出て逃げる、非常ボタンを押して外部へ連絡するなどしましょう。

- マンション等の高層階に住んでいても、犯人が非常階段や通路からベランダに飛び移り、閉め忘れた窓やドアから室内に侵入して被害に遭うケースもあります。油断することなく、玄関ドアと全ての窓に鍵をかけましょう。

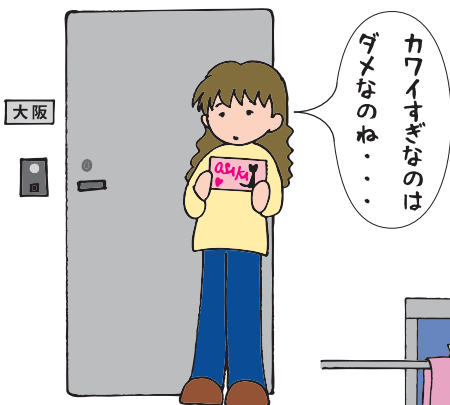


日頃からの心構え

犯人の中には、事前に女性が一人暮らしであるかどうかを確認してから犯行に及ぶ者もいます。

女性の一人暮らしであることがすぐにわからないよう

- ・ 表札は一目で女性とわかる表記にしない（かわいい手書き文字など）
- ・ 花柄などかわいらしい模様のカーテンは避ける
- ・ 洗濯物に男性用の衣類を一緒に干す
- ・ 玄関に男性用の靴を置く



玄関に男性用靴や傘



- ・ シンプルなカーテン
- ・ 男性用衣料品を見える位置に干す

などの工夫をしましょう。

